

令和6年度気象庁・横浜国立大学共催台風防災シンポジウム ～台風情報の見方と最新研究で知る、台風防災の現在地～ を開催します

気象庁と国立大学法人横浜国立大学は、『令和6年度気象庁・横浜国立大学共催台風防災シンポジウム～台風情報の見方と最新研究で知る、台風防災の現在地～』を令和7年2月22日（土）に開催します。

台風情報の見方や近年の主な台風被害、温暖化が台風に与える影響などの解説を通じて、台風防災についての理解を深め、被害軽減につなげられるよう、ぜひご参加ください！

令和6年度
気象庁・横浜国立大学共催

台風防災 シンポジウム

～台風情報の見方と最新研究で知る、
台風防災の現在地～



2025
2月22日(土)
13:00～16:00
会場：気象庁 講堂+オンライン

所在地：東京都港区虎ノ門3-6-9
東京メトロ（日比谷線）「虎ノ門駅」A2出口より徒歩4分
東京メトロ（丸の内線）「有明駅」4号出口より徒歩5分
東京メトロ（有明線）「虎ノ門駅」2号出口より徒歩10分
東京メトロ（有明線）「六本木一丁目駅」3号出口より徒歩15分

参加受付
事前申込制
参加費無料
現地先着100名まで

2025
2月22日(土)
令和6年度気象庁・横浜国立大学共催
台風防災シンポジウム

YNU

気象庁大気海洋部気象リスク対策課 西峰雄 防災気象官
にし・みね●東北産直出身。気象庁大気海洋部気象リスク対策課防災気象官。気象庁において気象情報・注意報といった防災気象情報の運用を担当。気象庁での業務、気象庁の報道局に転任して日本海で海上気象観測に従事。その後、主に気象庁の予報情報にて、台風の解明・予報、天気図の作成、天気予報や防災気象情報の発表業務に携わる。日本気象学会の機関誌にて、気象を取りまわって観測された風の画像を紹介する記事も執筆することも。2019年に気象庁予報課予報第五係長、2021年に札幌管区気象庁係長を経て、2023年から現職。

気象研究所全球大気海洋研究部 吉田康平 主任研究官
よしだ こうへい●北海道札幌市出身。気象庁気象研究所主任研究官。気象研究所において、地球全体の気象、海洋、陸面、大気圏組成など様々な要素を取り込んだ数値予測モデルである「地球システムモデル」の開発とそれを用いた気候変動予測及び台風をむく大気現象の研究を行っている。2011年に北海道大学大学院を修了後、地方気象官勤務を経て、気象研究所に研究員として勤務。2023年から現職。

台風科学技術研究センター 筆保弘徳 センター長
ふでやす ひろのり●東京都生まれ。岡山県育ち。横浜国立大学教育情報学部・台風科学技術研究センター長。京都大学防災研究所、防災科学技術研究所で台風災害の研究経験や、モバイルコンテンツ「台風ソングラム」(MTIの共同研究)やリアルタイム被害予測ウェブサイト「シーマップ」(あいおいニッセイ同業連合の共同研究)の開発など、これまで防災研究には深く関わってきた。シーマップ開発に際して第29回地球環境大賞受賞(2020年)。現在は内閣府「ムーンショット目標」プロジェクトマネージャーとして携わる。

台風科学技術研究センター 佐藤正樹 副センター長
さとう まさき●東京大学大気海洋研究所教授、横浜国立大学台風科学技術センター副センター長・教授。スーパーコンピュータ「富岳」を用いた気候変動予測シミュレーションによる台風発生メカニズムの研究を進めている。気候変動に関する政府パネル(IPCC)第6次評価報告書の著者として参加。気象庁の現状気象予報精度向上ワーキンググループの主要を務める。

台風科学技術研究センター 森信人 副センター長
もり のぶひこ●岐阜県出身。京都大学防災研究所教授、気象・水圏環境研究所教授、津波、高潮、高波の調査を引き継ぐ「ハード」や地球温暖化の影響を研究。また、防災気象情報や気象庁の防災・減災に関する活動に携わる。横浜国立大学台風科学技術センター副センター長・専攻長、横浜国立大学防災部長、防災大学防災支援センター「シマツ」を創設。日本気象学会特別顧問、ソラウェア大学長特別員、電学中央研究所主任研究員を経て、令和6年度気象庁副官、大気圏・水圏環境研究所、気象庁防災気象情報センター長に就任。2024年にフランスに留学。気象庁予報課予報第五係長。2022年に横浜国立大学台風科学技術センター副センター長、先端科学高等研究センター教授、2023年に広島大学客員教授、防災分野に貢献。

YNU TRC

竹下愛実 (お天気キャスター)
たけした あいみ●東京都出身。気象予報士・防災士・気象防災アドバイザー。気象キャスターとしてNHKや民放各局で気象情報番組を担当し、バラエティ番組での気象解説も務める。各地の小中学校での出前授業や気象学会の委員を務めるなど、幅広く活動。

<注意事項>
・オンラインはYouTubeを利用したリアルタイムの配信となります。視聴環境を準備の上申し込みください。
・現地参加の場合、キャンセルのご連絡は開催日前までをお願いいたします。(trc-office@ynu.ac.jp, 045-339-3346)
・現地参加の方には、受付開始時間や会場までのアクセス情報を別途ご案内いたします。
・オンライン参加の方には、事前に視聴用のリンクをメールでお送りいたします。当日までにご確認ください。
・ご不明点がございましたら、台風科学技術研究センター事務局 (045-339-3346) までお問い合わせください。

主催：気象庁・国立大学法人横浜国立大学

YNU

主催：気象庁・国立大学法人横浜国立大学

お申し込みはこちらから↓

<https://forms.gle/dNcfignbFn6MHQJSRA>

